

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
清水副局長	1 開 会
委員長	2 あいさつ 寒くなってきたので、もしかすると雪が降るかもしれないと思っていましたが、無事開催することができました。5回目の委員会ということで、計画の内容を詰めていこうというときかと思います。計画の中身をどうしていくのか、何が必要なか詰めていきたいと思っています。すべてが委員会の希望どおりにしていただければいいのですが、難しい面もあるかと思っていますので、早めに骨子をまとめていき、計画に入れるべきところや足りないところを検討していく方が良いのではないかと思います。同じ議論を繰り返さず、具体的に進めていただければと思いますのでよろしくお願いします。
事務局	3 協議事項 (1) 前回協議の確認について ➤ 事務局より第4回会議録の説明 (2) ワークショップ①：生活圏の拠点に必要なもの（前回のつづき） ➤ 前回に引き続き、これまでの意見を踏まえて拠点として必要な機能や役割などについて、3班に分かれてワークショップを実施 ◆各班からの意見
委員	(1班) ・地域の魅力が建物の運営や必要なものをフォローしていく材料になる。 ・現在も使われている自治会スペースが必要。会議室との併用を考えるとどうか。 ・建物の中に、いろいろな店舗が入ることやホールなどのスペースを貸し出すことにより、賃貸料収入で維持費を賄うことができる。 ・老若男女が集う場所として広いロビーが必要ではないか。また、集うためにどういったものが必要か、例えば、若い人向けにはWi-Fiスポットやカフェ、飲食できるところが併設されていれはうまくいくのでは。 ・高校生向けの下宿が必要ではないか。家賃収入も考えられる。 ・高齢化が進んでおり建物にはエレベーターが必要。 ・拠点の中心には行政施設があり、千種町の行政を支えてもらう。また、住民サービスを提供してもらう。 ・現在も使われている消防車を止めるスペースが2～3台分は必要になる。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・交通面でバスターミナルを併設することや、観光面で商工会窓口、観光の案内所を置いてはどうか。 ・いろんな施設を集約するということで、駐在所に入ってもらふことや、その駐在員に住んでもらふ住宅を考えてはどうか。 ・ホールは300人規模と大きくすることで、間仕切りすれば防災面で緊急事態にも対応できる。 ・太陽光発電設備の設置。 ・地元の特産品を活かすような機能があれば観光振興に繋がる。 <p>(2班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能重視の建物とし、見栄えよりも中身をしっかり入れていこうということが大前提になる。 ・ホールを充実させたい。段になった収納できる座席を考えてはどうか。 ・高校生の下宿を考えてはどうか。 ・日常生活のワンストップサービスということで、生活用品が買えるお店など、そこに行けば必要な物を揃えることができるような場所にする。また、カフェスペースなどで寄りやすくする。 ・送り迎えや他の場所にも行きやすいよう案内窓口がほしい。 ・バスターミナルとしてバスの出発や終点になる。また、貸し出すような車ではなく、無料で誰でも利用できる電動式の乗り物を並べておき、そこから商店街への買い物やエーガイヤの診療所など、拠点までくれば、自分で行きたいところに行けるようにしておけば面白いのではないか。 ・いろいろな相談事が解決したり、必要な物が買えたり、拠点までくれば移動手段が確保できるなど、情報も含めた拠点になればいい。
委員	<p>(3班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族ごと千種町に来ていただける拠点づくりができないか。家族ごと移住してもらえれば人口が増え、子どもも増える。 ・オシャレな場所でなければ若者が集まらない。 ・観光客や地域外の方を引っ張り込む方がいいのではという意見が多い。例えば、スキー客の泊まる場所やゴルフ客が町に立ち寄る工夫をして、そこに千種町を紹介するコーナーがあり、お土産が買えるようにする。また来たいというリピーターを増やすことで、いずれは千種町に住んでみようということに繋がる。それを可能にするカフェや音楽ができるようなホールも必要になる。 ・防災拠点として頑丈な造りも大事になる。 ・インスタ映えするようなことを考えてはどうか。 ・拠点での下宿を考えてはどうか。高校の存続が厳しい状態で、少しでも高校生に千種に住んでもらい、その延長線上で家族一緒に移り住んでも

	<p>らえればもっといいのではないか。そのために、千種町にすれば学費がかからない、下宿費用がかからないということがあれば、かなりインパクトがあるのではないか。</p> <p>(3) ワークショップ②：エリアで考えようー千種生活圏の拠点エリアの姿ー</p> <p>▶ 拠点となるエリアの中でどういう機能があるのか、これからどういった機能が必要となるのかについて、先ほどのワークショップとは班構成を変えて3班で意見交換を実施。</p> <p>◆各班からの意見</p>
委員	<p>(1班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点エリアの機能として、若者が集まる場所や医療関係がないことに気付いた。 ・飲食店や商店、買い物するところが多くあるが、地域外から来た住民は知らないところが沢山ある。カラオケ喫茶があることも知らなかった。 ・大人は遊んだり過ごせる町だが、若者や子育て世代が集まったり、遊んだりする場所があまりない。 ・今後改善していくにあたり、若者が行きやすく、また行こうと思える場所や施設、お店が必要だと感じた。
委員	<p>(2班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エーガイヤと市民局周辺に機能が二極化する。エーガイヤ周辺は地域外向けに観光分野を重点的にし、市民局周辺は行政や地域コミュニティの関係がまとまったらいいのではないか。 ・国道429号から市民局への進入路に段差があるが、利用しやすいように改善が必要。
委員	<p>(3班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街が充実して残っているので商業施設が多くある。 ・エーガイヤと市民局周辺に多くの機能があり、ここが拠点施設となる。 ・若者が集まる場所がないということだが、ええとこセンターは千種高校の町の駅になっており、高校生が月1回利用されている。また、ええとこ広場では、放課後に高校生が椅子に座って話していたり、帰るまでの時間を過ごしているのをよく見かける。市民局やセンターちくさも若者が集まる場所になると思う。 ・カラオケ店が2カ所あり、交流スペースが千種町にはある。 ・健康づくりや仲間づくり、生きがいくくりなど高齢者などが集まる場所が少なくとも一ヶ所はある。 <p>(4) 先進地視察について</p>

事務局	<p>次の2ヶ所を候補として、次回1月の委員会を先進地視察とさせていただきたいと考えています。</p> <p>①鳥取県南部町 「生涯活躍のまち」事業に取組み、東京など都市部から移住者を呼び込むための条件整備を進めている。これから計画を作っていく上での参考とする。</p> <p>②島根県松江市八雲社会福祉センター 複合施設として整備・運用されている拠点施設。実際に使用されている施設を視察し、使い方などの参考とする。</p>
委員長	<p>事務局からの提案について、この検討委員会と似たような取組みを進めているところということで、視察してはどうかと思います。意見はありませんか。</p>
委員	<p>－ 一同了承 －</p>
事務局	<p>(5) 今後の検討スケジュール（案） 高校の話や若者や子育て関係の機能が少ないということで、これらの機能を検討していくには若者の意見を聞くことが必要ではないかと考えています。1月の委員会は視察とさせていただき、2月に千種高校の生徒と検討委員会との懇談会ができればと考えています。その間、具体の計画素案の準備を進めていき、3月の委員会でお示しします。その素案を基に6月まで議論を重ね、方針を固めていってはどうかと考えています。</p> <p>4 その他 次回の委員会となる視察日程は、視察先の都合を確認の上、別途調整する。</p> <p>5 閉会</p>
副委員長	<p>これまで委員の皆様から意見を出していただいておりますが、行政職員の方も意見を出していただき、ともに考え行動するようにしていきたいと思えます。次回は視察ということですのでよろしく申し上げます。お疲れ様でした。</p>